

グローバル・リーダーシップの磨き方

世界を動かす イノベーション・思考の 多様性とは？

世界的な競争と共生が進む現代社会。熊本も例外ではなく、急速に進む国際化に対応が求められています。そのような中、相手の立場に立って互いを理解し、さらにはそうした違いから、それぞれの強みを引き出して活用し、相乗効果を生み出して新しい価値を創造することができるか、熊本大学のグローバル化を支援している二人の講師に、これまでの経歴や経験をふまえて、グローバルな経営、世界的な課題に挑む企業やそのしくみについてお話しいただきます。

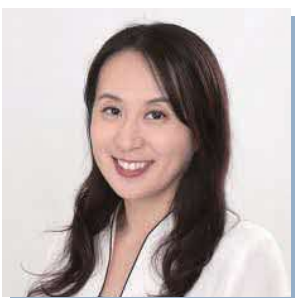
開催日 / 2025年1月25日(土)

会場 / 肥後銀行 本店2階 大会議室
(熊本市中央区練兵町1番地)

セミナー / 14:00-16:00 (120分)

定員 / 100名

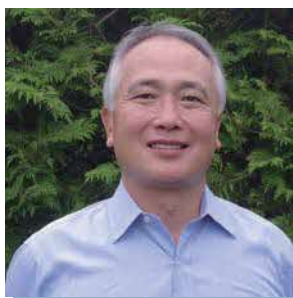
参加費 / 無料



北川 智子 氏 (歴史学者、著者)

カナダのプリティッシュコロンビア大学で数学と生命科学を学んだ後、米国プリンストン大学で歴史学の博士号を取得。米国ハーバード大学で歴史のクラスを教え、その内容は欧米や中東、アフリカを

含む世界各地での講演活動へと広がっていった。2022年4月 JAXA 宇宙教育センター長就任、2024年よりJAXA副理事長付アドバイザー。近著に『宇宙はなぜ面白いのか』(日本語、ポプラ社)と『Secret Lives of Numbers』(英語、ペンギンランダムハウス)がある。



柳原 恒彦 氏 (元北米三菱商事会社副社長)

1984年に米国アマーフト大学を卒業後三菱商事に入社。1993年ハーバード大学ビジネススクールにてMBAを取得。主に化学品関連事業を推進。2016年北米三菱商事シリコンバレー在住初の執行役員・副社長として、新規ビジネス共同研究所「M-Lab」を立ち上げ、日本企業のイノベーションの在り方を提案。現在はフィンテック、エンタープライズ・ソフトウェア、気候変動技術に投資するシリコンバレーのベンチャーキャピタルのパートナーを務める。

お問い合わせ

肥後銀行 地域振興部 (担当: 津村/高木)

✉ b-m@higobank.co.jp

☎ 096-326-8609

お申込みは
こちらから▶





マンスフィールド財団について

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団（マンスフィールド財団）は、生涯を通しアメリカのアジア理解を深め、アジア各国との関係を促進することに力を注いだマイク・マンスフィールド元駐日アメリカ大使と、モーリーン・マンスフィールド大使夫人の意志に基づき1983年に設立されたアメリカの非営利団体です。

1993年米国議会は、毎年10名程度のアメリカ連邦政府職員等をフェローとして選拔し、日本に1年間派遣する「マンスフィールド・フェローシップ・プログラム」を法制化しました。連邦法に基づき、アメリカ連邦職員を日本に派遣し、日本への理解を深め、日本の政界、官界のみならず、経済界、学界など様々な分野の日本のプロフェッショナルとネットワークを築いています。この制度の趣旨に賛同した日本・アメリカを代表する多数の企業がマンスフィールド財団の活動を支援しています。

熊本大学とマンスフィールド財団との連携プロジェクトについて

熊本大学はマンスフィールド財団と連携し、これまでに公開討論会、公開セミナー、マンスフィールド・フェローによる集中講義などを行ってきました。

毎年12月から2月には、マンスフィールド・フェローや、世界で活躍している方々を講師として招き、アメリカや世界の今を知る「熊本大学－マンスフィールド財団連携講義シリーズ」を一般に公開して開催しています。さらには、プロジェクトをサポートする外部講師による高校生や一般の方も参加いただけるセミナーも開催しています。

今後、熊本大学はこの活動を拡大し、新たなプログラムを展開しながら、熊本大学を拠点とした日本とアメリカの連携を深めてまいります。

肥後銀行は熊本大学のこの活動を
2024年度より支援しています。